

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス 滞在アーティストによるアーティスト・トーク

## 「コンテンポラリーダンスを脱植民地化する」

2023年8月17日(木) 19:00-20:30 (日英逐次通訳) / 森下スタジオ / 参加無料

登壇者：ナヨカ・ブンダ・ヒース ゲスト：マユンキキ 通訳：田村かのか

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、オーストラリアの先住民、Wakka Wakka、Ngugi (クイーンズランド) と Birrpai (ニュー・サウス・ウェールズ) のルーツを持つダンス・アーティスト、ナヨカ・ブンダ・ヒースを招へいし、森下スタジオ(東京・江東区)でアーティスト・トークを開催します。

ナヨカ・ブンダ・ヒースはアボリジナル・センター・オブ・ザ・パフォーミング・アーツでディプロマを取得後、ピクトリア芸術大学でダンスを学びました。卒業後、オーストラリアを代表するダンスカンパニー、バンガラ・ダンス・シアターの研修生として青少年教育プログラムの指導に関わり、現在、先住民のダンスカンパニー、チャンキー・ムーブのコーディネーターを務めています。

自身の振付作品としては、2019年、オーストラリアでの政府当局によるアボリジニの若者の強制移住に関する家族の歴史を語るレクチャー・パフォーマンス、『Blood Quantum (血の含有率)』を発表。自身の母方の祖父母の幼少期の出来事を出発点に、3世代にわたる「盗まれた世代」のトラウマとその制度の影響を描く作品として注目を集めました。また、『Blood Quantum』に次ぐ、『Birrpai』(2021年)では植民地時代にアマチュアの写真家、トーマス・ディック(1877-1927)が捉えた Birrpai の写真をもとに父方の先祖の歴史を取り上げ、メルボルンのグリーンルーム・アワードで、ダンス・ベスト・デュオ/アンサンブル賞を受賞しています。

本アーティスト・トークでは、ナヨカ・ブンダ・ヒースが代表作『Blood Quantum』、『Birrpai』、『Bridge』を事例に、自身の創作のアイデアやアプローチを明らかにします。また、ゲストにアーティストのマユンキキを迎えディスカッションを行います。

■申込方法：以下の Google フォームからお申し込みください。

Google Form: <https://forms.gle/eXwTp4FKxRstisdx5>

※定員 15 名、後日、アーカイブ配信予定。

※アーカイブ配信の URL の送付をご希望の方は上記からお申し込みください。



Ngioka Bunda-Heath, *Birrpai* photo by James Henry



参加申込

登壇者プロフィール

**ナヨカ・ブンダ・ヒース** / Ngioka Bunda- Heath

オーストラリアの先住民、Wakka Wakka、Ngugi (クイーンズランド) の母と Birrpai (ニュー・サウス・ウェールズ) の父を持つ。アボリジナル・センター・オブ・ザ・パフォーミング・アーツでディプロマを取得後、ビクトリア芸術大学でダンスを学び、学士号を取得。ダンスを専門に同大学を卒業した初の先住民の女性アーティスト。卒業後、オーストラリアを代表するバンガラ・ダンス・シアターで青少年教育プログラム「Rekindling」の指導に関わり、現在、チャンキー・ムーブの「First Peoples Partnership」のコーディネーターを務めている。自身の振付作品には、『Blood Quantum』(2019年)、『Birrpai』(2021年)、『Bridge』(2022年)、『Footprints』(2022年) などがある。



Photo: Sarah Walker

**マユンキキ** / MAYUNKIKI

1982年生まれ。北海道出身・在住。アイヌの伝統歌を歌う「マレウレウ」「アペトゥンペ」のメンバー。2021年よりソロ活動開始。国内外のアートフェスティバルに参加。アイヌ語講師、札幌国際芸術祭(SIAF)2017バンドメンバー(企画チーム)、SIAF2020ではアイヌ文化コーディネーターをつとめる。2018年より、自身のルーツと美意識に纏わる興味・関心からアイヌの伝統的な文身「シヌイエ」の研究を開始。現代におけるアイヌの存在を、あくまで個人としての観点から探求し、表現している。2020年には、第22回シドニー・ビエンナーレ「NIRIN」に参加。同年、写真家の池田宏と「シヌイエ アイヌ女性の入墨を巡るプロジェクト」(北海道・白老)、2021年「シンリッ アイヌ女性のルーツを探る出発展」(北海道・札幌、CAI03)、2022年「Siknure - Let me live」(イギリス・バーミンガム、Ikon gallery)を開催。



Photo: Hiroshi Ikeda

**コンテンポラリーって何？コンテンポラリーダンスのオープンワークショップ**

8月28日(月) 19:00~21:00 森下スタジオ

ナヨカ・ブンダ・ヒースをワークショップ講師に迎え、ダンスの基礎的なワークとしてフロアワークやトラベリング、インプロヴィゼーションや、ダンサーに身体と心の自由を探求させる速いテンポのワークを実践するワークショップを開催。フロアワーク、重量感、運動能力、テクニックに重点を置き、ウォームアップ、スキルエクササイズ、インプロヴィゼーション、クールダウンなどを行う予定です。

参加条件：18歳以上のダンスのトレーニングを受けているダンサー(定員10名)

申込先フォーム：<https://forms.gle/eXwTp4FKxRstisdX5>

**森下スタジオへのアクセス**

〒135-0004 東京都江東区森下3-5-6

<交通案内>

都営新宿線・都営大江戸線「森下駅」A6出口 徒歩5分  
東京メトロ半蔵門線、都営大江戸線「清澄白河駅」A2出口 徒歩10分

※トークに関するお問い合わせは(公財)セゾン文化財団、京橋事務所「03-3535-5566」にご連絡ください。

